



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社スペースマーケット 上場取引所 東  
 コード番号 4487 URL <https://spacemarket.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 正将 (TEL) 050(1744)9969  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第2四半期の業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	348	-	5	-	7	-	2	-
2019年12月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期第2四半期	0.25		0.23					
2019年12月期第2四半期	-		-					

(注) 当社は2019年12月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の数値及び2020年12月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,144	882	77.1
2019年12月期	1,418	879	62.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 882百万円 2019年12月期 879百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が引き続き不透明な状況にあることから、現段階では合理的な業績予想の算定を行うことが困難な状況であります。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期2Q	11,223,100株	2019年12月期	11,213,800株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期2Q	48株	2019年12月期	-株
-------------	-----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期2Q	11,218,838株	2019年12月期2Q	-株
-------------	-------------	-------------	----

（注）当社は、2019年12月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により個人消費や企業活動が著しく制限され、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言は解除されたものの、同感染症の感染リスクが残る中で、一定の経済活動制限や自粛は続き、先行きの不透明な状況が続くと見込まれます。

当社を取り巻く環境としては、新型コロナウイルス感染症の拡大及び緊急事態宣言の発令に伴い、イベント開催自粛の動きが継続したことにより、主にイベント利用について、スペースシェアリングの需要が減少いたしました。

このような状況の中、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景として、新しい生活様式のもと新しい働き方が求められていることを受け、ビジネスシーンに特化した「スペースマーケット会議室」のリリースを行いました。また、これらのスペースを安心・安全にご利用いただくため、スペースシェアリングのプラットフォームとして、同感染症拡大防止を目的とした感染症対策ガイドラインを策定し、同感染症対策を講じております。

さらには、シェアリングエコノミーの健全な成長に貢献するとともに、スペースシェアリングをより安心・安全にご利用いただけるよう、加害者が特定できなくとも被害者であるホスト・ゲストが自ら保険金請求できる被害者補償型の専用保険を導入しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は348,240千円、営業利益は5,396千円、経常利益は7,138千円、四半期純利益は2,800千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,096,557千円となり、前事業年度末に比べ288,739千円減少いたしました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景とした経済環境の悪化による決済ボリュームの減少に伴う未収入金の減少によるものであります。

## (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は48,393千円となり、前事業年度末に比べ14,742千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアを計上したことに伴う無形固定資産の増加が繰延税金資産の減少を上回ったことによるものであります。

## (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は217,556千円となり、前事業年度末に比べ275,651千円減少いたしました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景とした経済環境の悪化による決済ボリュームの減少に伴う掲載ホストへの未払金及びゲストからの預り金が減少したことによるものであります。

## (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は44,656千円となり、前事業年度末に比べ1,169千円減少いたしました。これは主に、長期借入金を返済したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は882,737千円となり、前事業年度末に比べ2,823千円増加いたしました。これは主に、当第2四半期累計期間に四半期純利益を計上したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ31,538千円増加し、847,486千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得た資金は、47,872千円となりました。これは税引前四半期純利益を7,138千円計上したこと及び未収入金が297,977千円減少したことを主要因としております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、15,187千円となりました。これは無形固定資産の取得による支出13,892千円を主要因としております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1,145千円となりました。これは長期借入金の返済による支出1,169千円を主要因としております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想については、引き続き、現段階において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,947	847,486
売掛金	48,395	12,052
未収入金	507,047	209,070
その他	14,498	28,608
貸倒引当金	△593	△660
流動資産合計	1,385,296	1,096,557
固定資産		
有形固定資産	2,620	1,977
無形固定資産	-	18,849
投資その他の資産	31,030	27,565
固定資産合計	33,651	48,393
資産合計	1,418,947	1,144,950
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,799	10,903
1年内返済予定の長期借入金	2,004	2,004
未払金	247,958	115,404
未払法人税等	11,736	3,892
預り金	140,540	53,629
ポイント引当金	17,888	4,406
その他	60,280	27,316
流動負債合計	493,208	217,556
固定負債		
長期借入金	45,825	44,656
固定負債合計	45,825	44,656
負債合計	539,033	262,212
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	241,128	241,155
資本剰余金	592,718	592,746
利益剰余金	45,823	48,623
自己株式	-	△32
株主資本合計	879,669	882,492
新株予約権	244	244
純資産合計	879,914	882,737
負債純資産合計	1,418,947	1,144,950

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	348,240
売上原価	110,106
売上総利益	238,134
販売費及び一般管理費	232,738
営業利益	5,396
営業外収益	
受取利息	3
補助金収入	2,000
その他	2
営業外収益合計	2,005
営業外費用	
支払利息	262
その他	0
営業外費用合計	263
経常利益	7,138
税引前四半期純利益	7,138
法人税、住民税及び事業税	265
法人税等調整額	4,072
法人税等合計	4,338
四半期純利益	2,800

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	7,138
減価償却費	1,722
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	66
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△13,482
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	262
売上債権の増減額 (△は増加)	36,343
未収入金の増減額 (△は増加)	297,977
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,896
未払金の増減額 (△は減少)	△132,553
預り金の増減額 (△は減少)	△86,911
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△34,580
その他	△18,796
小計	55,287
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△311
法人税等の支払額	△7,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△695
無形固定資産の取得による支出	△13,892
敷金及び保証金の差入による支出	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△1,169
新株予約権の行使による株式の発行による収入	55
自己株式の取得による支出	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	31,538
現金及び現金同等物の期首残高	815,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	847,486



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、スペースマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症について、わが国においても緊急事態宣言が発令され、当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしています。これにより、今後も当社の業績に影響が及ぶことが想定されますが、今後の広がりまたは収束を予測することは困難な状況下にあります。

このような状況の中、当社では、現時点で入手可能な最善の情報等を踏まえ、当事業年度末に向けて業績が徐々に回復するという一定の仮定をおきながら、繰延税金資産の回収可能性の評価等の会計上の見積もりを行っております。